



金 沢 小 学 校

令和6年4月4日
金沢小学校
学校便り No.1
(文責 三澤)

令和6年度スタート ～151年目の新たな一歩～



新入生14名を迎え、全校99名で令和6年度がスタートしました。

昨年度は、創立150周年という節目の年でした。様々な行事や児童会によるプロジェクトなどを企画・実施する中で、150周年を盛り上げようという気持ちが高まり、皆が一丸となっていったように思います。大人も子どもも全力で取り組み、一緒に感動したり達成感を味わったりする姿をたくさん見ることができました。

これも偏に、明治6年の開学以来、金沢の地に受け継がれてきた向学の志と、保護者の方々や地域の方々が、子どもたちを地域の宝とし、学校を地域の核として大切にしてくださったお陰だと思えます。心から感謝申し上げます。

さて、今年度は、151年目として、新たに一歩を踏み出す年となります。記念行事といった目に見える目標はありませんが、何が「金沢小学校らしさ」なのか、何を新しい学校づくりの核としていくかを、子ども達と一緒に考え、実践していきたいと願っています。

また、近年は子ども達を取り巻く情勢や環境が年々多様化しており、それに応え支えるためにも、学校は転換期を迎えています。茅野市が今年度から取り組む「縄文のビーナスプラン」でも、子ども達一人ひとりが縄文のビーナスのように輝くことを願って、子どもの多様性と力を伸ばしたり、様々な学びの場で個性を光らせたりする教育を提唱しています。実際に、昨年度は「子どもの力や可能性ってすごいな」「今、この子たちは輝いているな」と感じる姿がたくさんありました。

そこで、今年度は、更に子ども達が自分らしく輝ける学校づくりを目指して、学習や様々な活動を行っていきたいと考えています。

お家の皆様にも、温かく見守っていただけましたら、ありがたく思います。どうぞ、本年度もよろしく願いいたします。

令和6年度 金沢小学校教育目標 「深く豊かな心を持ち、自らやり抜く子ども」

上記を踏まえながら、本年度も引き続き、学校教育目標「深く豊かな心を持ち、自らやり抜く子ども」の実現に向けて取り組んで参ります。

そのために、次のように「めざす学校像」、「願う子どもの姿」と「重点目標」を掲げました。

